

下痢や軟便、発育の不良、ガリ、ヒネ等の発育不良の原因は複雑ではあります、その原因の一つに、善玉菌群の減少と悪玉菌群の増加による腸内菌叢の乱れがあげられています。

また、すでに解明されていることですが、悪玉菌群は大切な栄養素であるアミノ酸等を食べてしまい、インドール、スカトール等の有害物を生産してしまいます。

以上の事から、腸内菌叢の乱れが悪臭の発生につながること、即ち、健康と悪臭発生は反比例することがお分かりいただけます。

従って、腸内細菌のうち、善玉菌群の代謝を正常に保つことが重要であり、当社の”**腐植質ミネラル**”により改善された飲水は、この効果が高いことが実証されております。

採取生糞尿 分析値の結果

(1) 悪臭原因物質のうち、特に硫化水素について

☆飲水投与の場合、対象区に比較してその濃度が88%減少

☆飼料投与の場合、対象区に比較してその濃度が96%減少

(2) 硫化水素產生耐熱芽胞菌数の分析では

☆飲水投与の場合、対象区に比較してその濃度が93%減少

☆飼料投与の場合、対象区に比較してその濃度が97%減少

(3) 硫化水素產生菌数の分析では

☆飲水投与の場合、対象区に比較してその濃度が99.2%減少

☆飼料投与の場合、対象区に比較してその濃度が99.5%減少

と言う結果が得られました。

ヒューマス＝天然複合腐植質ミネラルを活用した「飲水システム」ならびに飼料投与、その併用が家畜の**腸内菌叢の正常化**に役立ち、その結果、家畜の消化吸収が正しく行われることで**健康**を保ち、健全な排泄が糞尿臭気を著しく減少させることにつながることが、その分析値からも明らかとなりました。